

# 「価格下落は資産拡大の好機」

日本財託グループ 田島浩作氏に聞く

「昨年、シェアハウス、ト経営支援のTATERU、かぼちやの馬車やアパーUで不正融資が相次い



だ。19年がスタート。個人投資家向けの不動産投資市場は正念場だ。一連の事件を受け個人投資家や家主向けのアパーUは細り始めている中で、日本財託グループの

エグゼクティブマネージャーの田島浩作氏に今年の展望を聞いた。

足もとの不動産市場について

「物件価格は高いものの、底堅い需要は感じる。前期(18年9月期)に私は112戸を販売したが、社内には年間365戸の実績を積み上げた営業マ

ンもいる」

「今年のリスクをどう見ますか」

「金利の上昇リスクに気を付けている。日銀が金融緩和の縮小(テーパリング)に向かい、徐々に国債の買い取りを減らすようになるのではないかと。日米貿易戦争や英国のEU離脱問題など海外

発の危機を踏まえて個人投資家に説明している」

「今年は投資を控えたいほうがいい?」

「仮に経済危機に陥れば不動産価格は下落する。どこまで下落するかにもよるが、資産価値の下落は資金力のある投資家にとっては資産拡大の好機ととらえている」